



予選レポート

2022/4/23 Rd-3 鈴鹿サーキット

天候：晴れ/曇り 気温：25℃ 出走台数：21台

Rd1&Rd2の2連戦で開幕した2022年スーパーフォーミュラからわずか2週間。

開場60周年を迎えた鈴鹿サーキットでRd3が開催される。Rd3鈴鹿サーキットは、土曜日に予選、日曜日に決勝の通常フォーマットで開催となる。

今シーズンより第1予選と第2予選の2回で争われるノックアウト予選。

前回富士戦では予選で出遅れた感のある牧野選手と大津選手だが、得意とする鈴鹿でどのようなパフォーマンスを見せてくれるだろうか。

ノックアウト第1予選、A組の牧野選手は、予選開始すぐにユーズドタイヤでチェックランに向かい、残り5分30秒の時点でニュータイヤを履きコースに入った。牧野選手は慎重にタイヤを温め、2計測周目にアタック。5番手で第2予選へ進む。

第1予選B組の大津選手も、コースチェックの後ニュータイヤを履き、2計測周目にアタック。6番手で第2予選へ。

第1予選におけるタイヤのフィーリングと、第1予選上位ドライバーが1計測周目にアタックを行っていたことなどから、牧野選手は第2予選に向けてセットアップを修正。1計測周目のアタックを行う。牧野選手は第1、第2セクターで僅かにタイムロス、第3セクターでベストラップを記録し、第4セクターでもタイムを伸ばすが6位。

大津選手は、2計測周目のアタック戦略を変えずに臨んだが、8位で予選を終えた。

*予選5位の国本選手のペナルティ（妨害行為）に3グリッド降格の裁定が下ったため、決勝レースは牧野選手5番グリッド、大津選手は7番グリッドからのスタートとなる。

5：牧野任祐選手 予選6位（第1予選A組5位 第2予選6位）HONDA 勢2位

朝の走り始めから車のフィーリングはとても良く、いくつかのアイテムもテストし、予選に向けて準備しました。予選ではコンディションの変化が大きく、調整をして臨んだのですが、コンディションの変化量に対してセットアップを合わせきれず、特に前半セクターでタイムロスしてしまいました。明日は雨の予報ですから、チームと共に戦略とセットアップを検証し、先頭でゴールすることに集中します。

6：大津弘樹選手 予選8位（第1予選B組6位 第2予選8位）HONDA 勢3位

走り始めから思うような車に仕上げられず、特に第1、第2セクターでタイムを伸ばせないところは、牧野選手と共通の課題です。明日は4列目からのスタートですが、雨のレースになりそうですし、テストでは決勝ペースがとても良かったので、アグレッシブに攻めて表彰台フィニッシュを目指します。